



THAILAND
ECONOMIC UPDATE
January 2021

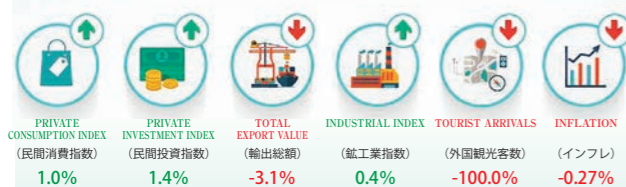
ศูนย์วิจัยกสิกรไทย
KASIKORN RESEARCH CENTER

11月のタイ経済は緩やかな回復傾向ながらも不均衡な状態

▶ 要点

- ▶ 2020年11月のタイ経済は緩やかな回復傾向ながらも不均衡な状態にあります。輸出のマイナス幅が縮小し、民間消費、投資、および工業生産が拡大する一方で、外国人旅行者の入国制限により、経済をけん引する観光業は依然として打撃を受けています。
- ▶ 2020年12月の消費者物価は、前年同月比0.27%下落し、10ヶ月連続のマイナスとなりました。下落率は11月の0.41%からは縮小しています。2020年のCPIの平均は前年比で0.85%減となりました。一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は同0.19%の小幅な上昇で、前月と比べ横ばいでした。
- ▶ カシコン・リサーチセンターは、2021年にタイの外出産業の市場規模が前年比1.4%~2.6%増の4100億~4150億バーツに拡大すると予測しました。ただし市場の脆弱性が高いとして、事業者には慎重な事業運営を呼び掛けています。
- ▶ 困難な状況を生き延びるため、移動性と柔軟性を重視した店舗の小型化推進を提案し、具体的には「ポップアップストア」や移動販売車両「フードトラック」、宅配に特化した飲食店「クラウドキッチン」の活用や、設置費用と運転資金が少なく済む「キオスク」の設置などを挙げました。

2020年11月のタイ経済指標成長率(Y-O-Y:前年比)



▶ タイ経済の動向

2020年11月のタイ経済情報

タイ中央銀行が発表した2020年11月の主要経済指標によると、タイ経済は回復が続いているものの不均一な状態となっています。民間消費や投資などが上向いてきている一方、観光業が新型コロナウイルス感染症対策による入国規制の影響で打撃を受けています。

11月の民間消費は前年同月比1.0%上昇し、前月のマイナス成長からプラス成長に転じました。政府の景気刺激策や特別公休日の設定による連休が消費を下支えしており、耐久財消費も拡大に転じました。

民間投資は前年同月比1.4%の上昇となりました。国内の機械販売が5.9%増、商用車の購入が1.8%増、建材の販売が1.5%増、機械・設備を中心とした資本財の輸入が0.7%減、建設認可を受けた土地の面積は6.7%減でした。

11月の輸出は、前年同月比3.1%減の189億米ドルとなり、前月に比べてマイナス幅が縮小しました。金を除いた輸出額は2.3%減の187億米ドル、金と石油関連製品を除いた場合は1.7%減となっています。

工業生産に関しては、前年同月比0.4%増となり、前月の0.5%減から僅かに改善しました。設備稼働率は前月の63.5%から64.8%に上昇しました。

観光業では、外国人観光客数が引き続き前年同月比100%減となっています。タイ政府は10月からタイに最長270日間の滞在が可能となる特別観光査証を取得した外国人旅行者の受け入れを開始しましたが、入国者はわずかでした。

2020年12月のタイのインフレ率

商務省が発表した2020年12月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比0.27%下落と10ヶ月連続のマイナスとなりました。下落率は11月の0.41%からは縮小しています。2020年のCPIの平均は前年比で0.85%減となりました。

品目別にみると、非食品・飲料部門が前年同月比1.24%低下、運輸・通信は3.07%低下しました。一方で、食品・飲料部門は前年同月比1.38%増となり、ほぼ全ての品目が上昇しました。とりわけ、果物・野菜が6.43%増、調味料が3.28%増、肉・魚が2.93%増となっています。

一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比0.19%の小幅な上昇で、前月と比べ横ばいとなりました。

2021年外出産業、2.6%成長の予測

カシコン・リサーチセンターは、2021年にタイの外出産業の市場規模が前年比1.4%~2.6%増の4100億~4150億バーツに拡大すると予測しました。

限定的なサービスを提供する店が2.4%、屋台が2.0%、フルサービス提供レストランが0.7%、それぞれ成長すると予測しています。中低価格帯の店舗は、政府の消費刺激策などの恩恵を受けると予想されますが、外出産業全体では、新型コロナウイルス感染症の再流行と競争激化、消費者の購買力の回復遅れなど、20年と同様にリスクの高い状態が続くため、市場の脆弱性が高いとして、事業者には慎重な事業運営を呼び掛けています。

困難な状況を生き延びるため、移動性と柔軟性を重視した店舗の小型化推進を提案しており、具体的には「ポップアップストア」や移動販売車両「フードトラック」、宅配に特化した飲食店「クラウドキッチン」の活用や、設置費用と運転資金が少なく済む「キオスク」の設置などを挙げています。

コロナ後の外出産業の展望

- ・顧客の需要が不安定化する。
- ・飲食店1店舗当たりの平均収入は減少。
- ・追加資金は財政余力に限られる。

感染予防策が必要		事業の柔軟性・移動性も必要	
フードトラック	キオスクの設置	クラウドキッチン	ポップアップストア
平均開業資金 50~70万バーツ (173~242万円)	開業資金 20万バーツ以上 (70万円以上)	クラブなどを相談上で 「開店資金ゼロ円」 も可能	平均開業資金 2万バーツ以上 (7万円)

出所：カシコンリサーチセンター

www.kasikornbank.com
K-Contact Center 02-8888888



บริการทุกระดับประทับใจ

図1：民間消費及び民間投資（成長率：前年比）

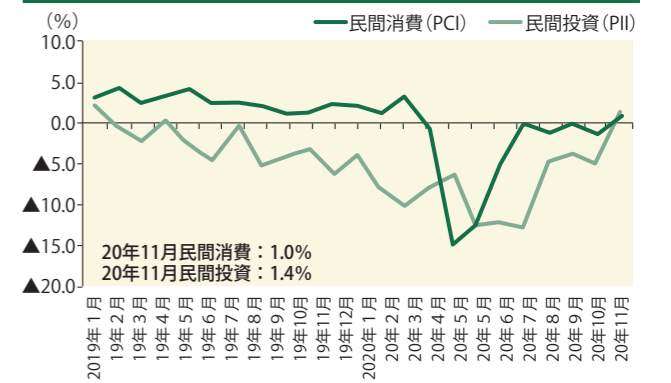


図2：輸出、工業生産、外国人観光客数（成長率：前年比）

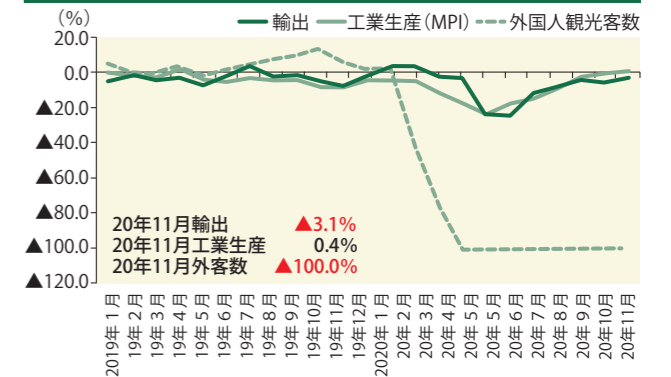


図3：ヘッドライン・インフレ率及びコア・インフレ率

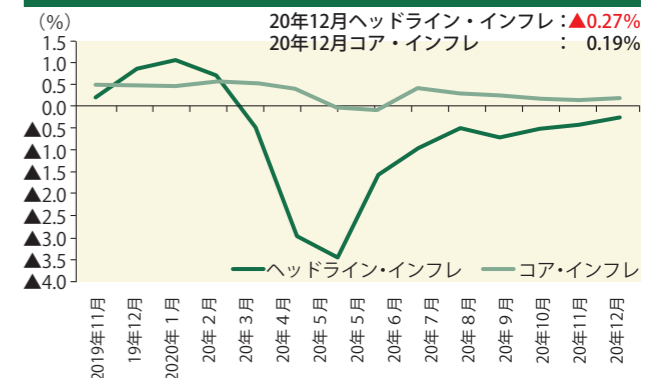
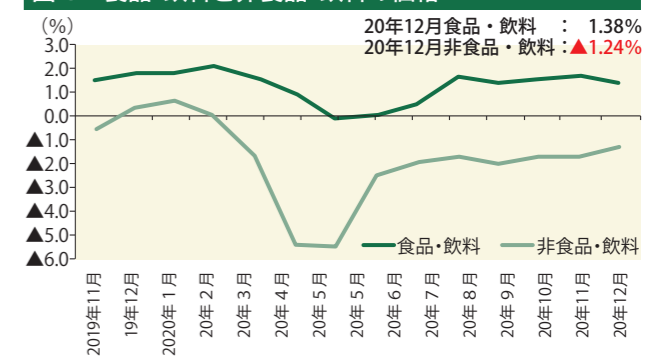


図4：食品・飲料と非食品・飲料の価格



出所：タイ国中央銀行、タイ国工業省、タイ国観光・スポーツ省、タイ国商務省